

お元気ですか日本共産党村議の

川崎あつ子です

(かわさき 篤子)



2012年 4月 22日 61

ご相談はお気軽にお寄せください

〒319-1106 東海村白方284-1 TEL/FAX 029-282-0229

E-mail atsuko-k@car.ocn.ne.jp

バックナンバーは「川崎あつ子」検索で読みいただけます



新しい視点 展望しめす
しん 赤旗
ぶん
日刊紙●月3,400円
日曜版●月 800円

桜や椿が満開となり、春らんま
んですが、花冷えでしょうか寒い
日が続きます。

3月議会には、東海第2原発
についての再稼働中止と廃炉

を求める請願3件、安全性向上
原子力推進を求める請願1件が、
原子力問題調査特別委員会に
付託され、9日から審査が始まり
ました。23日(月)には、2回目の

委員会が午後2時半以降、役場
庁舎5階の原子力災害対策室に
て予定されています。ぜひみな
さんお誘いあわせて傍聴にお越
しください。



さよなら原発
in茨城 集会
4/1笠松運動公園にて
塩川てつや
衆院議員と
梅村さえ子比例
代表衆議院候補

3月議会一般質問：お寄せいただいたみなさんの声をもとに行いましたご紹介し

1.一部損壊住宅修繕費助成の拡充
川崎 修繕費助成は、「3万円とは
いえありがたい」と喜びの声がある
一方、「対応が遅過ぎる」「期待外
れだ」との声がある。「材料を購入し、
自前で修繕した」方や「日立市は塀
も助成の対象。住まいではなく、塀
と物置が損壊してしまった」と言う方
もいる。なぜ塀や物置が対象になら
ないのか。対応がなぜ遅れたのか。



遅まきながら助成
が行われ、村がやっ
と住民と心が通じ合
えたのではないかと
評価できるが、さら
なる検討、拡充をも
とめる。

建設水道部長 助成額は、東海村
災害見舞金制度の全壊10万、半壊
5万の額を参考に3万円と設定。

自分で材料を購入し修繕をした方
は、対象にしない。

県から11月末に社会資本整備総
合交付金の追加配分の知らせがあ
り、制度を立ち上げ2月27日から申
請の受け付けを開始。

居住環境をもとに戻すための助成
だから塀や物置は対象にしない。

始まったばかりなので、当面この
制度の周知に努めたい。

2.固定資産税の見直しは
川崎 「一部損壊家屋だが、3・11
の地震とその後の余震でさらに傷み

が激しくなっている。固定資産税軽
減の措置はされないか」という声が
寄せられた。

固定資産税の3年ごとの見直しに
合わせた村の対応はどうか。

総務部長

半壊以上全壊までの既存家屋は、
内閣府の基準に沿って一律減価
する。一部損壊以下の家屋の減
価率は示されていないが、地震時
村内に存在した家屋はすべて地
震の被害を受けているものとし
て、一律10%の低減をする。

3.学校給食食材の放射線量測定
川崎 「献立全食の安全を確認して
ほしい」との声が上がっている。食材
全部をあわせて測定はできないか。

教育次長 現在は自校調理方式で、
調理終了が給食開始の直前になる。
時間的制約があり難しい。

4.放射能の私有地除染に補償を
川崎 「村は私有地の除染の状況
を把握して、まとめて国や東電に補
償を要求してほしい」との声が寄せら
れている。住民の放射線被ばくを避
け、健康を守るためにも積極的に私
有地の除染状況を把握して、費用
の負担軽減に努めるべきです。

状況把握のために、除染に必要な
土のう袋やブルーシートを支給す
べきと思うが。

経済環境部長 今後、土のう袋等
のご希望がありましたら検討します。

(次ページに続きます)

5. 公園整備と放射能汚染

川崎 なぎさの森近くにお住まいの方は「3・11後、孫たちは森の中で駆け回っていた」と心配しておられた。「再度測定を行い、立ち入らないよう、きっちりフェンスで囲うなどして住民の安全確保が必要ではないか」という声がある。



建設水道部長 基準値を超えている豊岡なぎさの森と真崎古墳群には、出入口付近に立ち入りを控える看板を設置し、注意を促している。今後、放射性物質汚染対処特別措置法に基づき除染作業を行うよう対象区域の調査を行い、除染計画を策定し、国の指導に沿い、除染作業を実施する。

当分の間は看板等での対応を行う。今後とも地域と十分協議を行いながら取り組む。

川崎 風評被害を招くとか、忘れたいと事実をなかつたことにしようとする考えがあるが、こうした思いを断ち切らなければ、自分たちの健康

や安全は守れない。特に未来を担う子供たちにとっては重要。住民の健康と安全を最優先に考えて、安心して緑と触れ合える場としての空間が確保できるまでは十分な周知を行い、厳重に出入りを禁ずる策が必要と考える。

6. 白方霊園の放射能汚染測定をもとめる

川崎 「白方霊園周辺の汚染はどうか」と心配する声がある。白方霊園の放射能汚染の測定はされているのか

経済環境部長 白方霊園は、私有地ですので、ご依頼や了解がなければ勝手に調査測定できない。

白方霊園付近にある日本原電のモニタリングポストにおける平成24年1月の放射線量の測定結果は、1時間当たり0.1から0.12マイクロシーベルトでした。

今後、白方共同墓地組合から依頼がありましたら、調査測定を行いたい。



川崎 村と同様の計測器を私も所持していますので、計ってきました。少し離れると0.29マイクロシーベルトのところもあり、松林付近の値は0.45から0.56マイクロシーベルトという数字を示した。

霊園は私有地ではなく、国有地であり永久使用権がある。今後、迅速な対応を要望する。

7. 愛林組合に係る松林の放射能除染を

川崎 本村には国有地への入会権(いりあいけん)を持った愛林組合がある。入会権は歴史的な既得権であり、毎年行使しなければ愛林組合が存続できなくなる。「なくすべきではない」と組合員の一致した声がある。来年度から松葉採取ができるように当局に松林の除染を求めるべきではないでしょうか。

愛林組合連合会会長の村上村長の見解を伺う。

村長 日本原電なり、日本原子力機構なりに要求していきたい。また、国にも状況は伝え、除染をするということになれば、支援をお願いしたい。

川崎 愛林組合の存続を願う声に

的確にこたえられるということです、ぜひお願いしたい。

8. 原子力教育の副読本は問題

川崎 文部科学省が新たに発行した教材は「放射線はもともと身近にあるものだから安全だとの誤った認識を児童生徒に与えかねない内容で問題」という声があります。福島原発事故後問題が山積している中で、その活用をどう考えるか。

自然エネルギーへの転換が大切であることをぜひ学校できちんと教えていただきたい。

教育長 防災教育の一環として取り組んできた。今回東電の福島原発事故により、国が事故の反省、総括をしっかりと、原子力発電に対する方向性を示さない限り、原子力教育を早急にすべきではない。

自然エネルギーの利用活用は極めて重要であり、理科の学習を中心にしていきたい。

